

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	CMC中越モータース(株)本社・新潟店 新潟県新潟江南区亀田早通字川根2770-1の内 他36筆 市街化区域、防火地域指定なし、準工業地域 事務所、工場 2025年4月 予定 8,450.25 m ² 2,954.84 m ² 3,626.97 m ² 地上2F S造 実施設計段階評価 2024年4月19日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{34.5}{42.5} = 0.8$
--	----	--

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全 に使い続けるために	平均スコア 3.0		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 Q2.1.3 Q2.3.3	3.0 3.0 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産 を守るために	平均スコア 2.9		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 Q2.2.4	3.0 2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのた めに	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 LR1.2	5.0 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づく りのために	平均スコア 3.0		節水 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 LR2.2.4 LR2.2.6	4.0 1.0 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代 に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 Q3.3.2	1.0 2.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活か したまちづくりのために	平均スコア 2.0		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 Q3.3.1	3.0 1.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版|使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	CMC中越モータース株式会社・新潟店	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟江南区亀田早通字川根2770-1の内 他36筆	構造	S造
用途地域	市街化区域、防火地域指定なし、準工業地域	平均居住人員	35 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,300 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2024年4月19日
敷地面積	8,450 m ²	作成者	笹尾 慈子
建築面積	2,955 m ²	確認日	2024年4月19日
延床面積	3,627 m ²	確認者	笹尾 慈子

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE =0.8		標準計算		Qのスコア= 2.3	
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです					

2-4 中項目の評価(バーチャート)		Qのスコア= 2.3	
Q 環境品質		Q2 サービス性能	
Q1 室内環境		Q3 室外環境(敷地内)	
Q1のスコア= 2.2		Q2のスコア= 3.0	
Q3のスコア= 1.9			
LR 環境負荷低減性		LRのスコア= 3.2	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
LR3 敷地外環境			
LR1のスコア= 3.7		LR2のスコア= 2.8	
LR3のスコア=3.1			

3 設計上の配慮事項		その他	
総合		特に無し。	
省エネ基準をクリアする断熱性のある外皮、効率の良い設備機器の採用により温暖化対策に配慮している。			
Q1 室内環境		Q2 サービス性能	
シックハウス対策の内装材の採用、及び換気可能な開口の確保に配慮している。		余裕のある執務スペースを計画している。	
Q3 室外環境(敷地内)		その他	
特に無し。			
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
省エネ基準をクリアする断熱性を確保や、効率の良い空調設備の採用により、一次エネルギー消費量の低減を図っている。		節水便器、自動水洗の採用等で省資源に配慮している。	
LR3 敷地外環境		その他	
LCCO2 排出率を88%としている。			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される